







放射線治療グループ：放射線治療開発マップ

2026.5.

加速照射法の有効性評価

















対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬
喉頭がん Stage I-II	通常分割法による放射線治療 (66-70 Gy/33-35回) 加速照射法 ¹⁾ (60-64.8 Gy/25-27回) 	JCOG0701 加速照射法による放射線治療 (60-64.8 Gy/25-27回) 2007.5 ~ 2013.1 2016.1 		
乳がん (乳房温存手術後)	通常分割法による放射線治療 (50-66 Gy/25-33回) 短期照射 (40-53.2 Gy/15-20回) 	JCOG0906 加速照射法による放射線治療 (42.56-53.2 Gy/16-20回) 2010.2 ~ 2012.8 2017.8 	START A, B (UK) Fast Forward (UK) TROG 07.01など 通常照射 vs 寡分割照射 寡分割照射 vs 超寡分割照射	NSABP B-39 RAPIDなど 全乳房照射 vs. APBI
初発膠芽腫 (71-75歳非全摘 出、75歳-)	手術+40Gy寡分割照射 + テモゾロミド ± NOVO-TTF 	JCOG1910 40Gy寡分割照射+テモゾロミド vs. 25Gy寡分割照射+テモゾロミド 脳腫瘍グループとの共同試験 2020.8 ~ 2024.2 2026.2 	ホウ素中性子補足療法 2016	

1) 加速照射法は通常分割法に対する非劣性を僅かに証明できなかったが有効性・安全性に差はなく治療オプションの一つである

放射線治療グループ：放射線治療開発マップ

先進的放射線治療の有効性評価



2026.5.

対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬
非小細胞肺癌 Stage I	手術可能：肺葉切除+系統的リンパ節郭清 (Stage IB: +術後補助化学療法) 	JCOG0403 体幹部定位放射線治療 (48 Gy/4回) 2008.11 2012.7 	JROSG10-1 T1N0M0中枢性肺癌に対するSBRT線量 増加試験：(60 Gy/8回が推奨線量)	I-SABR Stage I/IIに対する SBRT ± Nivolumab
	手術不能：通常分割法による放射線治療 (60-70 Gy/30-35回) 	JCOG0702 体幹部定位放射線治療 (40-65 Gy/4回) 2014.4 2017.4 	JROSG17-4 非小細胞肺癌の完全切除後孤立性肺腫瘍に 対するSBRT非ランダム化検証的試験	KEYNOTE-867 Stage I/IIAに対する SBRT ± Pembrolizumab
上咽頭癌 Stage II-IVB	強度変調放射線治療による化学放射線療法 	JCOG1408 体幹部定位放射線治療 (肺がん内科グループとの共同試験) 標準線量 vs. 高線量 2016.2 ~ 2024.12 2029.12 	JROSG19-1 中枢型IA期非小細胞肺癌に対する高精度 少分割放射線治療の前向き登録 準備中	PACIFIC-4/RTOG-3515 Stage I/IIに対する SBRT ± Durvalumab
	強度変調放射線治療による化学放射線療法 	JCOG1015 強度変調放射線治療による化学放射線療法 2014.10 2017.10 	STABLE-MATES Stage Iに対する縮小手術 vs SBRT	VALOR Stage Iに対する手術 vs SBRT
中咽頭癌 T1-2N0-1	3次元原体放射線治療による放射線治療 (70 Gy/35回) 	JCOG1208 強度変調放射線治療による放射線治療 2014.6 ~ 2020.7 2025.7 		
中*・下咽頭、喉 頭癌 stage III- IVB	強度変調放射線治療(SIB法予防領域56Gy/35 回) 化学放射線療法(70 Gy/35回) シスプラチン 	JCOG1912 強度変調放射線治療+シスプラチン (頭頸部がんグループとの共同試験) SIB56法 vs 2-step40法 2021.5 2025.3 2028.3 レイサマリ 		
子宮頸癌 (術後再発高リスク)	3次元原体放射線治療による化学放射線療法 シスプラチン+放射線治療(50.4Gy/28回) 	JCOG1402 強度変調放射線治療による化学放射線療法 (婦人科腫瘍グループとの共同試験) 2017.4 ~ 2021.10 2026.5 	術後再発高リスクに対する 術後CCRT vs 術後化学療法 Phase III JCOG1082	
肝細胞癌 初発単発結節型 肝細胞癌	肝部分切除 	JCOG1315C (先進医療B) 肝細胞癌に対する陽子線療法と 肝切除非ランダム化同時対照比較試験 (肝胆膵グループとの共同試験) 2017.6 ~ 2024.12 2030.12 	STRSPH P-2 初発単発 体幹部定位放射線治療	

放射線治療グループ：放射線治療開発マップ



先進的放射線治療の有効性評価

2026.5.

対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬
肺がん オリゴ転移	全身薬物療法	<p>JCOG2108</p>  <p>完全切除後再発非小細胞肺癌 オリゴ転移個数1-3個に対する治療 肺がん外科・肺がん内科・放治G 維持療法（細胞障害性抗がん剤 + ICIまたはICI） vs. 根治的局所療法（SBRTまたは手術） 2023.9 ~ 2025.9 2028.9</p>	<p>NCT03137771 NRG-LU002 全身薬物療法±局所治療</p> <p>NCT02417662 SARON 全身薬物療法±局所治療</p> <p>NCT02893332 SINDAS 1st gen EGFR-TKI ± upfront RT</p> <p>JRCTs041250114 WJOG20924L J-OLIGO Chemo-Pembro±局所治療</p> <p>JRCTs041220115 WJOG13920L ORIHALCON オシメルチニブ±SBRT</p>	
乳がん オリゴ転移	全身薬物療法	<p>JCOG2110</p>  <p>乳がんグループとの共同試験</p> <p>全身療法 vs. 全身療法 + 局所療法（定位照射、手術） 2023.11 ~</p>	<p>NCT03862911 SABR-COMET-3 固形癌全般対象 全身薬物療法±SBRT</p> <p>STEREO-SEIN ホルモン陽性乳癌 全身療法 vs 全身療法 + 定位照射</p> <p>TAORMINA 乳癌 全身療法 vs 全身療法 + 定位照射</p>	
照射歴のある 有痛性脊椎転移	<p>通常照射</p>  <p>8 Gy/1回、20 Gy/複数回</p>	<p>JCOG2211</p>  <p>通常照射 8 Gy/1回 vs. 体幹部定位放射線治療 24 Gy/2回 2024.6 ~</p>		




放射線治療グループ：放射線治療開発マップ

オリゴ転移に対する有効性評価 2026.5.

対象	標準治療		JCOG試験		他組織の試験		主な未承認薬/ 適応外薬
	陰性	陽性	陰性	陽性	陰性	陽性	
ドライバー遺伝子変異							
肺癌術後オリゴ再発	<p>PD-L1 TPS\geq50% ベムプロリズマブ、アテゾリズマブ、PD-1/PD-L1抗体 + プラチナ併用療法など</p>	<p>EGFR-TKI (オシメルチニブ)、ALK-TKI (アレクチニブ) など</p>	<p>JCOG2108 肺癌外科・内科・放治G 導入薬物療法後の維持療法 vs 根治的局所治療 2023.9 ~ 2025.9 2028.9</p> 				
肺癌同時性オリゴ転移	<p>PD-L1 TPS\leq49% PD-1/PD-L1抗体 + プラチナ併用療法など</p>				<p>NCT03137771 NRG-LU002 全身薬物療法 ± 局所治療</p>		
					<p>NCT02417662 SARON 全身薬物療法 ± 局所治療</p>	<p>NCT02893332 SINDAS 1* gen EGFR-TKI ± upfront RT</p>	
					<p>RCTs041250114 WJOG20924L J-OLIGO Chemo-Pembro ± 局所治療</p>	<p>RCTs041220115 WJOG13920L ORIHALCON オシメルチニブ ± SBRT</p>	
肺癌 oligoprogression	<p>二次治療以降</p>	<p>二次治療以降</p>					<p>NCT03256981 HALT TKI beyond PD + SBRT</p>
乳がんオリゴ転移	<p>全身薬物療法</p>		<p>JCOG2110 乳がんグループとの共同試験 全身療法 vs 全身療法 + 局所療法 (定位照射、手術) 2023.9 ~</p> 		<p>SABR-COMET3 多癌腫 全身療法 vs 全身療法 + 局所療法 (定位照射、手術)</p>		
					<p>STEREO-SEIN ホルモン陽性乳癌 全身療法 vs 全身療法 + 定位照射</p>		
					<p>TAORMINA 乳癌 全身療法 vs 全身療法 + 定位照射</p>		

放射線治療グループ：膠芽腫治療開発マップ






2026.5.

対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬	
Grade 4					
初発 膠芽腫	20-70歳 非全摘出				
20-70歳、 71-75歳 全摘出	手術+放射線60Gy +テモゾロミド ± NOVO-TTF	JCOG2412C  脳腫瘍グループ 手術+放射線+テモゾロミド vs.手術+放射線+テモゾロミド+ 高容量メトホルミン プロトコール作成中	JCOG2209  脳腫瘍グループ 全摘出（90%以上） 手術（全摘出）+放射線+テモゾロミド vs.手術（FLAIRectomy）+放射線+ テモゾロミド 2023.7～	RT+テモゾロミド vs. RT+テモゾロミド+AFTV 2019 RT+テモゾロミド vs. RT+テモゾロミド+TTF 2020	CCNU DCVax-L
71-75歳 非全摘出、 75歳-	手術 +40Gy寡分割照射 +テモゾロミド ± NOVO-TTF	JCOG1910 40Gy寡分割照射+テモゾロミド vs. 25Gy寡分割照射+テモゾロミド 脳腫瘍グループとの共同試験 2020.8～2024.2 2027.8			
再発 膠芽腫	ベバシズマブ 		BNCT 2016	DCVax-L	

RT: 放射線照射（局所）、AFTV:自家腫瘍ワクチン、NOVO-TTF：交流電場腫瘍治療システム、BNCT：ホウ素中性子捕捉療法
 MGMTp：MGMTプロモーター領域のメチル化 FLAIRectomy：FLAIR高信号病変可及的切除術
 CCNU：ロムスチン、DCVax-L：自家腫瘍溶解液添加樹状細胞ワクチン

放射線治療グループ：上咽頭がん治療開発マップ

2026.5.

Stage ¹⁾ 切除可能・不能	標準治療	JCOG試験	他組織の 試験	主な未承認薬/ 適応外薬
Stage I	放射線治療 			
Stage II				
Stage III	シスプラチン併用 化学放射線療法 	JCOG1015 		
Stage IVA	Stage III/IVA 導入化学療法 (EBV関連) or 追加化学療法	強度変調放射線治療による 化学放射線療法 2014.10 2017.10		
Stage IVB	化学療法  (プラチナ感受性)			
再発	化学療法  (プラチナ抵抗性)			シスプラチン/ゲムシタピン + 抗PD-1抗体

化学療法
(プラチナ感受性)
・シスプラチン/ゲムシタピン
・シスプラチン/5FU
±ペムプロリズマブ












化学療法
(プラチナ抵抗性)
・ゲムシタピン
・ニボルマブ or
ベムプロリズマブ

シスプラチン/ゲムシタピン
+ 抗PD-1抗体

1) UICC 8th

放射線治療グループ： 中咽頭がん治療開発マップ

2026.5.

Stage 1) 切除可能・不能	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬
Stage I	単純切除 	JCOG1208 早期中咽頭癌 強度変調放射線治療による 放射線治療 2014.6 ~ 2020.7 2025.7 レイサマリー 		
Stage II	機能温存手術 			
切除可能 Stage III Stage IVA Stage IVB	根治手術再建術 ±術後化学放射 線療法 (シスプラチン +放射線治療)  シスプラチン 併用化学放射 線療法 	JCOG1008 術後ハイリスク 放射線治療+シスプラチン q3w vs. weekly 2012.10 2023.12 (2019/12 有効中止) 		
切除不能 Stage III Stage IVA Stage IVB	導入化学療法 (TPF療法) ³⁾ 	JCOG1912 強度変調放射線治療+シス プラチン (頭頸部がんグループとの 共同試験) SIB56法 vs 2-step40法 2021.5 2025.3 2028.3 レイサマリー 	JCOG2405 高齢者頭頸部癌 放射線治療 vs. Weekly シスプラチン併用 化学放射線療法 2026.1 ~ 頭頸部がんグループとの共同 試験 	iProton study シスプラチン +強度変調陽 子線治療 症例登録中 術前治療、 化学放射線 療法関連企 業治験
Stage IVC	化学療法 1 st line  ペムプロリズマブ or ペムプロリズマブ+シス プラチン/5FU or セツキシマブ+シスプラ チン/5FU	化学療法 2 nd line (プラチナ不応) ニボルマブ  Or ペムプロリズマブ		初回治療、Late line 免疫療法関連 企業治験
再発				









1) UICC 7th p16陽性の病期毎の治療戦略は確立されておらずあえて旧分類を使用した。

2) 扁桃、舌根、軟口蓋のT1-2N1のstage IIIについて放射線治療も標準治療のオプションと考えられる。

3) 導入化学療法TPF (ドセタキセル、シスプラチン、5-FU) は、機能温存を希望する切除可能患者の標準治療の一つ(ESMOガイドラインでは推奨度A)

放射線治療グループ： 下咽頭がん治療開発マップ

2026.5.

Stage 1) 切除可能・不能	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬
Stage I	<p>単純切除 </p>			
Stage II	<p>機能温存手術 </p>			
切除可能 Stage III Stage IVA Stage IVB	<p>根治手術再建術 ±術後化学放射線療法 (シスプラチン+放射線治療) </p> <p>シスプラチン併用化学放射線療法 </p>	<p>導入化学療法 (TPF療法)²⁾ </p>	<p>JCOG1008 術後ハイリスク 放射線治療+シスプラチン q3w vs. weekly 2012.10 2023.12 (2019/12 有効中止) </p>	<p>術前治療、 化学放射線療法関連企業試験</p>
切除不能 Stage III Stage IVA Stage IVB		<p>JCOG1912 強度変調放射線治療+シスプラチン (頭頸部がんグループとの共同試験) SIB56法 vs 2-step40法 2021.5 2025.3 2028.3 レイサマリー</p>	<p>JCOG2405 高齢者頭頸部癌 放射線治療 vs. Weekly シスプラチン併用 化学放射線療法 2026.1 ~ 頭頸部がんグループとの共同試験</p>	
Stage IVC	<p>化学療法 1st line </p> <p>ペムプロリズマブ or ペムプロリズマブ+シスプラチン/5FU or セツキシマブ+シスプラチン/5FU</p>	<p>化学療法 2nd line (プラチナ不応) </p> <p>ニボルマブ Or ペムプロリズマブ</p>		<p>初回治療、Late line 免疫療法関連企業試験</p>
再発				

1) UICC 8th
2) 導入化学療法TPF (ドセタキセル、シスプラチン、5-FU) は、機能温存を希望する切除可能患者の標準治療の一つ(ESMOガイドラインでは推奨度A)

放射線治療グループ： 喉頭がん治療開発マップ

2026.5.

Stage 1) 切除可能・不能	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬
Stage I	LMSレーザー 放射線治療 通常分割法 66 Gy/33回) 加速照射法 ²⁾ 60 Gy/25回)	JCOG0701 加速照射法による放射線治療 (60-64.8 Gy/25-27回) 2007.5 ~ 2013.1 2016.1		
Stage II	機能温存手術 放射線治療 通常分割法 70 Gy/35回) 加速照射法 ²⁾ 64.8 Gy/27回)			
切除可能 Stage III Stage IVA Stage IVB	根治手術再建術 ±術後化学放射線療法 (シスプラチン+放射線治療) シスプラチン併用化学放射線療法 導入化学療法 (TPF療法) ³⁾	JCOG1008 術後ハイリスク 放射線治療+シスプラチン q3w vs. weekly 2012.10 2023.12 (2019/12 有効中止)		
切除不能 Stage III Stage IVA Stage IVB		JCOG1912 強度変調放射線治療+シスプラチン (頭頸部がんグループとの共同試験) SIB56法 vs 2-step40法 2021.5 2025.3 2028.3 レイサマリー	iProton study シスプラチン+強度変調陽子線治療 症例登録中	術前治療、 化学放射線療法関連企業治験
Stage IVC	化学療法 1st line ペムプロリズマブ or ペムプロリズマブ+シスプラチン/5FU or セツキシマブ+シスプラチン/5FU 化学療法 2nd line (プラチナ不応) ニボルマブ Or ペムプロリズマブ	JCOG2405 高齢者頭頸部癌 放射線治療 vs. Weekly シスプラチン併用 化学放射線療法 2026.1 ~ 頭頸部がんグループとの共同試験		初回治療、Late line 免疫療法関連 企業治験
再発				









1) UICC 8th

2) 加速照射法は通常分割法に対する非劣性を僅かに証明できなかったが有効性・安全性に差はなく治療オプションの一つである

3) 導入化学療法TPF (ドセタキセル、シスプラチン、5-FU) は、機能温存を希望する切除可能患者の標準治療の一つ(ESMOガイドラインでは推奨度A)

放射線治療グループ：乳がん放射線治療開発マップ

2026.5.

病期	対象		標準治療 照射部位 (通常照射で施行)	JCOG試験	他組織の試験 (主な第 相試験)	主な未承認薬/ 適応外薬
	手術	領域リンパ節				
Stage 0 DCIS (非浸潤癌)	乳房 温存術		放射線治療 全乳房照射 		<div data-bbox="1255 392 1535 478">NSABP B-17 RTOG9804など 全乳房照射 (+) vs. 照射 (-)</div> <div data-bbox="1555 392 1816 478">TROG 07.01 通常照射 vs. 短期照射</div>	
Stage I Stage II	乳房 温存術		放射線治療 全乳房照射 	<div data-bbox="782 506 1120 649">JCOG0906 中等度寡分割法照射 (42.56-53.2 Gy/16-20回) 2010.2 ~ 2012.8 2017.8</div>	<div data-bbox="1255 492 1825 578">OCOG-1993-hypo (Canada) START A,B (UK) Fast Forward (UK), RTOG1005 など 通常照射 vs. 短期照射</div> <div data-bbox="1255 592 1825 649">NSABP B-39(RTOG0413), RAPID(Canada) など 全乳房照射 vs. 乳房部分照射</div> <div data-bbox="1255 656 1825 699">EUROPA RT省略 vs ホルモン療法省略</div> <div data-bbox="1255 706 1825 771">NCIC-CTG MA20 領域リンパ節照射 (-) vs. 領域リンパ節照射 (+)</div>	
		転移数 0個	放射線治療 全乳房照射 			
		1 - 3 個	放射線治療 全乳房照射 			
	> 3 個	放射線治療 全乳房 + 領域リンパ節 				
Stage I Stage II Stage III	乳房 全切除術	転移数 0個			<div data-bbox="1236 971 1487 1063">SUPREMO (UK) 胸壁照射 (-) vs. 胸壁照射 (+)</div> <div data-bbox="1497 899 1690 1135">KROG 08-06 (韓国) 内胸照射 (-) vs. 内胸照射 (+)</div>	
		1 - 3 個				
	> 3	放射線治療 胸壁 + 領域リンパ節 				
術前療法 Stage I Stage II T1-2N0 HER 2 陽性 TN	省略 (cCR)		放射線治療 全乳房照射 	<div data-bbox="782 1120 1226 1249">JCOG1806 乳がんグループ HER2陽性cCR後非切除 + RT (58.56-66 Gy/24-33回)</div>	<div data-bbox="1255 1135 1825 1220">RAFAELO study/PO-RAFAELO study cT1 (<1.5 cm)N0M0、全てのサブタイプ 乳房非切除 乳房RFA熱焼灼 + 術後照射</div>	
				放射線治療 全乳房照射 	<div data-bbox="782 1263 1226 1378">JCOG2406 乳がんグループ TN乳癌cCR後非切除 + RT (58.56Gy/24回)</div>	<div data-bbox="1255 1228 1825 1292">MD Anderson, T1-2N0-1M0、TN or HER2 乳房非切除, 全乳房照射 + ブースト (54-64Gy/22-32回)</div> <div data-bbox="1255 1299 1825 1363">OPTIMIST trial, cT1-2N0-2M0、TN、HER2+, Low HR、乳房非切除, 全乳房照射 + ブースト</div>

放射線治療グループ：非小細胞肺癌治療開発マップ

対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬
Stage IA	<p>肺葉切除、区域切除 + 系統的リンパ節郭清</p> <p>手術不能例： 体幹部定位放射線治療 (48 Gy/4回)</p>	<p>JCOG0403 体幹部定位放射線治療 (48 Gy/4回) 2004.7 ~ 2008.11 2017.2</p> <p>JCOG1408 体幹部定位放射線治療 (肺癌内科グループとの共同試験) 標準線量 vs. 高線量 2016.2 ~ 2024.12 2029.12</p>	<p>JROSG10-1 T1N0M0中樞性肺癌に 対するSBRT線量 増加試験 ： (60 Gy/8回が推奨線量)</p> <p>JROSG17-4 非小細胞肺癌の完全切除後 孤立性肺腫瘍に対するSBRT 非ランダム化検証的試験</p> <p>JROSG19-1 中樞性IA期非小細胞肺癌に 対する高精度少分割 放射線治療の前向き登録 準備中</p> <p>STABLE-MATES Stage Iに対する縮小手術 vs SBRT</p> <p>VALOR Stage Iに対する手術 vs SBRT</p>	<p>I-SABR Stage I/IIに対する SBRT ± Nivolumab</p> <p>KEYNOTE-867 Stage I/IIAに対する SBRT ± Pembrolizumab</p> <p>PACIFIC-4/RTOG-3515 Stage I/IIに対する SBRT ± Durvalumab</p>
Stage IB	<p>肺葉切除+系統的リンパ節 郭清+術後補助化学療法 (UFT)</p> <p>手術不能例： 通常分割法による 放射線治療 (60-70 Gy/30-35回)</p>	<p>JCOG0702 体幹部定位放射線治療 (40-65 Gy/4回) 2008.10 ~ 2014.4 2017.4</p>		
Stage II	<p>肺葉切除+系統的リンパ節 郭清+術後補助化学療法 肺尖部胸壁浸潤癌 導入化学放射線療法後外 科切除</p> <p>手術不能例： 通常分割法による 放射線治療 (60-70 Gy/30-35回) ±化学療法(シスプラチン を含む2剤併用)</p> <p>同時併用化学放射線療法</p> <p>通常分割法による RT(60 Gy/30回) + 化学療法 (シスプラチンを含む 2剤併用/高齢者は カルボプラチン併用 + デュルバルマブ</p>	<p>JCOG1914 (高齢者) 肺癌内科グループ カルボプラチン + Nab-PTX + 胸部放射線治療 vs. 連日カルボプラチン + 胸部放射線治療 2020.12 ~ 2024.3 2026.3 レイサマリー</p>		
Stage III		<p>JCOG1916 肺癌外科グループ 病理学的N2非小細胞肺癌に対する 術後放射線治療 手術 + 化学療法 vs. 手術 + 化学療法 + 放射線治療 2021.1 ~ 2024.12 2027.12</p> <p>JCOG1807C(先進医療B) 肺癌外科・内科グループ 肺尖部胸壁浸潤癌 デュルバルマブ併用集学的治療 2020.10 ~ 2025.8 2030.8</p>	<p>JCOG2502 EGFR陽性：化学放射線療法後の デュルバルマブ地固め療法 vs. オシメルチニブ維持療法 2026.4</p> <p>JCOG2510 同時化学放射線療法後の デュルバルマブ地固め療法 vs. 導入プラチナ併用化学療法 + ペムブロリズマブ後の 同時化学放射線療法 ± 地固めICI 2026開始見込み</p>	

JCOG 放射線治療グループ：食道がん治療開発マップ 2026.5.

対象 (UICC8th)	標準治療	JCOG試験
Stage I (N0)	<p>内視鏡的粘膜切除術 (ESD/EMR)+CRT</p> <p>食道切除術 (胸腔鏡または開胸)¹⁾</p> <p>根治的CF-RT²⁾</p>	<p>JCOG1904 根治的CF-RT²⁾ : 局所 vs 予防照射</p> <p>放射線治療グループとの共同試験 2020.3 ~ 2026.4 2031.4</p> <p>JCOG2013 (±術前CF⁵⁾/DCF³⁾ 胸部上中部扁平上皮癌 食道切除術: 鎖骨上リンパ節郭清 vs 温存 2022.8 ~ 実施中</p>
Stage I (N1)	<p>術前DCF³⁾ + 食道切除術 (胸腔鏡または開胸)¹⁾</p> <p>術後Nivo⁴⁾ (術前化学放射線療法 + 食道切除術後)</p> <p>根治的CF-RT²⁾ (50.4Gy) + 救済治療 (初回治療として食道切除を希望しない場合)</p>	<p>JCOG2206 術前CF⁵⁾/DCF³⁾ + 食道切除術: 術後経過観察 vs Nivo⁴⁾ vs S-1 2023.7 ~ 実施中</p>
Stage II	<p>術前化学療法 + 食道切除術¹⁾</p> <p>根治的 化学放射線療法</p>	<p>JCOG2203 食道胃接合部腺癌 食道切除術: 手術先行 vs 術前DOS⁸⁾/FLOT⁷⁾ + 手術 胃がんグループとの共同試験 2023.7 ~ 実施中</p>
Stage III	<p>術前化学療法 + 食道切除術¹⁾</p> <p>根治的 化学放射線療法</p>	<p>JCOG2203 食道胃接合部腺癌 食道切除術: 手術先行 vs 術前DOS⁸⁾/FLOT⁷⁾ + 手術 胃がんグループとの共同試験 2023.7 ~ 実施中</p>
T4a/M1LYM 切除可能	<p>術前化学療法 + 食道切除術¹⁾</p> <p>根治的 化学放射線療法</p>	<p>JCOG2203 食道胃接合部腺癌 食道切除術: 手術先行 vs 術前DOS⁸⁾/FLOT⁷⁾ + 手術 胃がんグループとの共同試験 2023.7 ~ 実施中</p>
T4b/M1LYM 切除不能	<p>根治的 化学放射線療法</p>	<p>JCOG1510 根治的CF-RT²⁾ vs 導入DCF³⁾ + 根治的CF-RT²⁾ or 食道切除術 2018.2 ~ 2023.4 2027.4</p>
Stage IVB	<p>1次化学療法: CF⁵⁾ + Pembro⁶⁾ CF²⁾ + Nivo⁴⁾ Nivo⁴⁾ + Ipi⁸⁾</p> <p>2次化学療法: パクリタキセル ドセタキセル 免疫チェックポイント阻害薬使用歴がない場合、 Nivo⁴⁾ Pembro⁶⁾ (CPS ≥ 10)</p>	<p>JCOG2311 放射線療法 + Nivo⁴⁾ + Ipi⁸⁾ vs Nivo⁴⁾ + Ipi⁸⁾ 2024.11 ~ 実施中</p>
再発	<p>1次化学療法: CF⁵⁾ + Pembro⁶⁾ CF²⁾ + Nivo⁴⁾ Nivo⁴⁾ + Ipi⁸⁾</p> <p>2次化学療法: パクリタキセル ドセタキセル 免疫チェックポイント阻害薬使用歴がない場合、 Nivo⁴⁾ Pembro⁶⁾ (CPS ≥ 10)</p>	<p>他組織の試験</p> <p>KUNLUN_Phase III 根治的 化学放射線療法 + Durvalumab</p> <p>ISLAND-J 頸部食道癌 Phase II DCF³⁾-IMRT⁹⁾</p> <p>KEYNOTE 975 Phase III 根治的 化学放射線療法 + Pembro⁶⁾</p> <p>LEAP-014 Phase III 化学療法 + Pembro⁶⁾ vs 化学療法 + Pembro⁶⁾ + Lenvatinib</p>

1) 2-3領域リンパ節郭清 2) CF-RT: シスプラチン+5-フルオロウラシル+放射線療法 3) DCF: ドセタキセル+シスプラチン+5-フルオロウラシル療法 4) Nivo: Nivolumab
 5) CF: シスプラチン+5-フルオロウラシル療法 6) Pembro: Pembrolizumab 7) FLOT: ドセタキセル+FOLFOX療法 8) Ipi: Ipilimumab
 9) DOS: ドセタキセル+オキサリプラチン+S-1療法 9) IMRT: 強度変調放射線治療
 主な承認薬: オキサリプラチン (FOLFOX療法またはFOLFOX + RT療法として保険償還)、S-1 (保険償還)、チスレリズマブ、カルボプラチン、イリノテカン

放射線治療グループ：肝細胞がん治療開発マップ 2026.5.

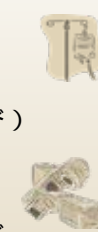


対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	未承認薬/適応外薬
Child-Pugh A/B 単発 or 3 cm 3個以内	<p>切除 </p> <p>ラジオ波焼灼術 (RFA)</p>	<p>JCOG1315C (先進医療B) 肝細胞癌に対する陽子線療法と肝切除 非ランダム化同時対照比較試験 単発、3-12cm 肝胆膵グループとの共同試験 2017.6 ~ 2024.12 2030.12 </p>	<p>STRSPH P-2 初発単発 体幹部定位放射線治療</p> <p>JROSG24-2 小型HCC 体幹部定位放射線治療レジストリ研究</p> <p>切除/RFA後補助 高リスク群 ニボルマブ vs. プラセボ (企業治験) P-3</p> <p>切除/RFA後補助 高リスク群 ペムプロリズマブ vs. プラセボ (企業治験) P-3</p> <p>切除/RFA後補助 高リスク群 デュルマルマブ + ペバシズマブ vs. デュルマルマブ + プラセボ vs. プラセボ + プラセボ (企業治験) P-3</p> <p>切除術前補助 脈管侵襲例 レンパチニブ + シスプラチン動注 JON p-2</p> <p>TACE + ペムプロリズマブ + レンパチニブ vs. TACE + プラセボ + プラセボ (企業治験) P-3</p> <p>TACE + ニボルマブ + イビリムマブ vs. TACE + ニボルマブ + プラセボ vs. TACE + プラセボ + プラセボ (企業治験) P-3</p> <p>TACE + STRID + レンパチニブ vs. TACE + STRID + プラセボ vs. TACE + プラセボ + プラセボ (企業治験) P-3</p>	<p>切除/RFA後補助 高リスク群 ・アテゾリズマブ + ペバシズマブ</p>
Child-Pugh A/B 多発	<p>肝動脈化学塞栓術 (TACE)</p>		<p>アテゾリズマブ + ペバシズマブ P-2</p> <p>イビリムマブ + ニボルマブ vs. ソラフェニブ/レンパチニブ (企業治験) P-3</p> <p>アテゾリズマブ + ペバシズマブ + チラゴルマブ vs. アテゾリズマブ + ペバシズマブ + プラセボ (企業治験) P-3</p> <p>アテゾリズマブ + ペバシズマブ + TACE vs. アテゾリズマブ + ペバシズマブ (Atezo + Bev SD例) P-3</p>	<p>切除/RFA後補助 高リスク群 ・TACE + デュルマルマブ + ペバシズマブ</p>
Child-Pugh A 肝外転移 脈管侵襲 (一次治療)	<p>薬物療法 ・アテゾリズマブ + ペバシズマブ ・デュルバルマブ + トレメリムマブ 複合免疫療法の適応なし ・デュルバルマブ ・ソラフェニブ ・レンパチニブ</p>		<p>RTOG1112 P-3, BCLC B/C, 5個以内 ソラフェニブ vs SBRT + ソラフェニブ</p> <p>アテゾリズマブ + レンパチニブ/ソラフェニブ vs. レンパチニブ/ソラフェニブ (企業治験) P-3</p> <p>レンパチニブ vs ラムシルマブ (AFP 400 ng/ml) JON P-3</p> <p>レンパチニブ vs ソラフェニブ JON P-3</p>	<p>薬物療法 ・ディスレリズマブ ・カムレリズマブ + リボセラニブ</p>
Child-Pugh A 肝外転移 脈管侵襲 (二次治療)	<p>薬物療法 ・ソラフェニブ ・レンパチニブ ・レゴラフェニブ ・ラムシルマブ (AFP ≥ 400 ng/ml) ・カボザンチニブ</p>		<p>アテゾリズマブ + ペバシズマブ P-2 JON P-1/2</p> <p>デュルマルマブ + トレメリムマブ (企業治験)</p>	<p>薬物療法 ・ニボルマブ ・ペムプロリズマブ ・イビリムマブ + ニボルマブ</p>
Child Pugh B				
Child Pugh C	<p>肝移植、緩和ケア</p>			

Child Pugh : 肝臓の障害度を示す指標 (点数が高いほど、肝障害が進んでいることを示します)

放射線治療グループ：前立腺がん治療開発マップ

2026.5.

転移を有するホルモン未治療がん

対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	未承認薬 適応外薬	
<p>Low volume 転移を有する ホルモン未治 療前立腺がん</p>	<p>標準治療 ホルモン療法 (+ピカルタミド) ホルモン療法 +放射線療法 ホルモン療法 +エンザルタミド ホルモン療法 +アパルタミド</p> 		<p>NCT 01957436 PEACE1 ADT±DOC ADT±DOC+ABI ADT±DOC+localRT ADT±DOC+localRT+ABI</p> <p>NCT03678025 SOC SOC + RP or RT</p> <p>NCT03784755 PLATON oligo meta ADT+localablative ADT+local+metaablative</p> <p>NCT04191096 KEYNOTE-991 ADT+ENZ ADT+ENZ+Pembrolizumab</p> <p>NCT04493853 CAPItello-281 ADT+ABI ADT+ABI+Capivasertib (Only PTEN-)</p>	<p>NCT 02799602 ARASENS ADT+DOC ADT+DOC+Darolutamide</p> <p>NCT 01809691 ADT vs ADT+TAK-700</p> <p>NCT03879122 PROSTRATEGY ADT+DOC ADT+DOC+Nivolumab ADT+DOC+Niv+Ipi</p> <p>NCT01978873 SensiCab ADT ADT+CBZ</p> <p>NCT 04497844 AMPLITUDE ADT+ABI ADT+ABI+Nirapalib (Only DDR mut+)</p>	<p>ドセタ キセル</p>
<p>High volume 転移を有する ホルモン未治 療前立腺がん</p>	<p>標準治療 ホルモン療法 +アピラテロン +プレドニゾン ホルモン療法 +エンザルタミド ホルモン療法 +アパルタミド</p> 	<p><u>JCOG2011</u> ホルモン療法+ARAT* vs ホルモン療法+ARAT* +局所放射線 (PFS>6m) 泌尿器科腫瘍グループとの 共同試験 2023.3 ~</p> 			

*ARAT:アピラテロン、エンザルタミド、アパルタミド

対象 (FIGO2008)	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬
Stage IA	単純 or 準広汎 or 広汎子宮全 摘術	JCOG1101 腫瘍2cm以下 準広汎子宮全 摘術 2012.12 2022.8 縮小手術の 有効性証明	CERVANTES 術後再発 中リスク群 に対する 術後補助療法 単独RT vs 術後照射なし (Phase III) 2021.4	ROCC/GOG3043 早期子宮頸癌に対 するロボット支援 下広汎子宮全摘術 2022.3~
Stage IB1	根治的 放射線療法(3次元 原体放射線治療+ 3次元小線源治療)	JCOG1402 術後強度変調放射線 治療による 化学放射線療法	SHAPE IA2, IB1<2 cm 単独子宮全摘 vs 広汎子宮全摘 (Phase III) 2012.4 2023.3	JGOG 1087 (JACC) 早期子宮頸癌に対 する新術式腹腔鏡下広 汎子宮全摘術の非ラ ンダム化検証試験 2021.9~
Stage IB2	広汎子宮全摘術 ± 術後補助療法	広汎術後 再発高リスク群	JGOG 1082 (AFTER) 再発高リスク術後群 に対する術後補助療法 CCRT vs TP or TC (Phase III) 2019.8~	RTOG 0724 術後再発高リスク群 に対する術後補助療法 CCRT vs CCRT + TC (Phase III) 2009.9 2022.2 CCRT + TCの優越性 証明できず
Stage IIA	再発中リスク群 - 術後放射線療法	JCOG0102 術前化学療法 2004.11 2005.4 術前化学 療法の優越性 示せず	婦人科腫瘍グループ との共同試験 2017.4 2026. 10 レイサマリ	
Stage IIB	再発高リスク群 - 術後CCRT (3 次元原体放射線治 療)	or ・導入化学療法 (CBDCA/PTX) + 根治的CCRT	EMBRACE-II Stage IB-IVA IGRT-IMRT MRI-IGABT 前向き観察研究 2016.3	eVOLVE-Cervical IB2-IIB (Ln+), III-IVA CCRT vs CCRT+Volrustomig (Phase III) 2023.9
Stage IIB (bulky)			NRG-GY037 Stage 3-4A CCRT+Pem Pem vs TC+Pem CCRT+Pem Pem (Phase III) 2025.9	
Stage I,II リンパ節転移疑				
Stage III/IVA	局所治療で 制御可能 (Oligo 転移含む)	局所治療で制御不能 JCOG0505 TP療法 vs. TC療法 TC療法の非劣性証明		
Stage IVB	手術 または 放射 線療法(RT)	JCOG1311 TC±Bev vs. ddTC±Bev ddTC±Bevの優越性示せず	FERMATA/ENGOT-cx13 TP/TC+Prolgolimab±Bev TP/TC+Placebo±Bev 2019.10.1	Atezolizumab Neratinib (HER2陽性) Tisotumab vedtin
再発	局所治療対象外 TP/TC±Bev±Pe m または緩和治療		Camrelizumab+Famitinib試験 Camrelizumab+Famitinib TP/TC±Bev 2021.7.23	
再発 標準化学療法後 増悪 (2次治療)	MSI-H Pem単剤療法			
	Cemiplimab CPT11等単剤療法 または緩和治療			

同時化学放射線療法(CCRT)：化学療法(標準はweeklyシスプラチンと外部照射(全骨盤照射)±腔内照射の同時併用 初回根治治療でリンパ節転移またはIII/IVA期ではPem併用
TC：パクリタキセル+カルボプラチン、TP：パクリタキセル+シスプラチン CPT11：イリノテカン Pem：Pembrolizumab IMRT：強度変調放射線治療 Ln+：リンパ節転移
MSI-H：マイクロサテライト不安定性が高い状態 Bev：ベバシズマブ

放射線治療グループ：有痛性骨転移治療開発マップ

2026.5.

対象		標準治療		JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬
脊椎	照射歴なし	通常照射 8 Gy/1回、 20 Gy/5回、 30 Gy/10回など	体幹部定位放射線治療 SC.24 24 Gy/2回		RTOG0631 通常照射 8 Gy/1回 vs. SBRT 16 or 18 Gy/1回 2009 2018	
	照射歴あり 20 Gy以下	通常照射 SC.20 8 Gy/1回、20 Gy/複数回		JCOG2211 通常照射 8 Gy/1回 vs. 体幹部定位放射線治療 24 Gy/2回 2024.6 ~		
	照射歴あり 20 Gy超 40 Gy	通常照射 8 Gy/1回				
非脊椎骨	照射歴なし	通常照射 8 Gy/1回、 20 Gy/5回、 30 Gy/10回など				
	照射歴あり 30 Gy以下	通常照射 SC.20 8 Gy/1回、20 Gy/複数回				